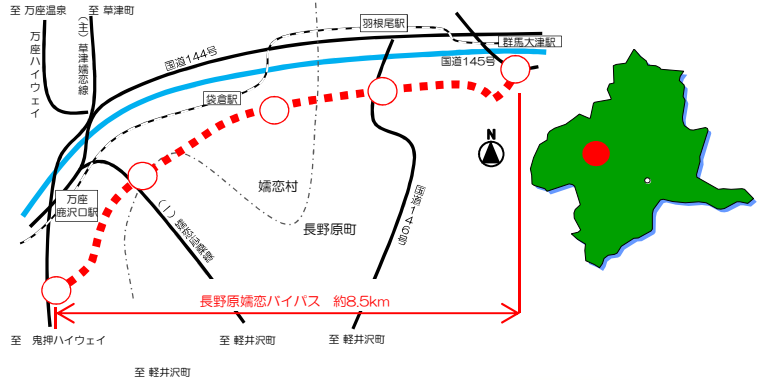


事業概要

- 所在地：長野原町与喜屋～嬭恋村鎌原
- 路線名：国道144号
- 事業内容：延長 約8.5km 幅員10.5m
- 全体事業費：約220億円
- 事業期間：令和元年度～令和11年度（11年間）
- 現在の交通量（H27）：8,931台/日（現道_国道144号）
- 計画交通量（R12）：6,800～11,000台/日（バイパス）
：6,500台/日（現道_国道144号）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の発展と住民の利便性向上を図るため

バイパス道路
をつくります



- ・地域の発展のため、移動を便利にしてほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く、すれ違いに支障があるので、円滑に通行できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・温泉地やスキー場などの観光地に、人を呼び込み観光客を増やしたい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
移動時間 （渋川伊香保IC～万座温泉）	約2時間	約1時間30分（約30分短縮）
搬送時間 （嬭恋村～緊急医療病院）	西吾妻福祉病院32分 前橋赤十字病院 165分	西吾妻福祉病院27分（5分短縮） 前橋赤十字病院 100分（65分短縮）
嬭恋村からの即日販売圏域人口	2,287万人	3,486万人

実施前

- ◆線形不良箇所が38箇所あり、見通しが悪く交通事故のおそれがあるとともに、雨量規制や土砂崩れにより通行止めが過去に5回発生しています。（H19～R1）



国道144号幅員狭小状況



H28年 倒木による通行規制

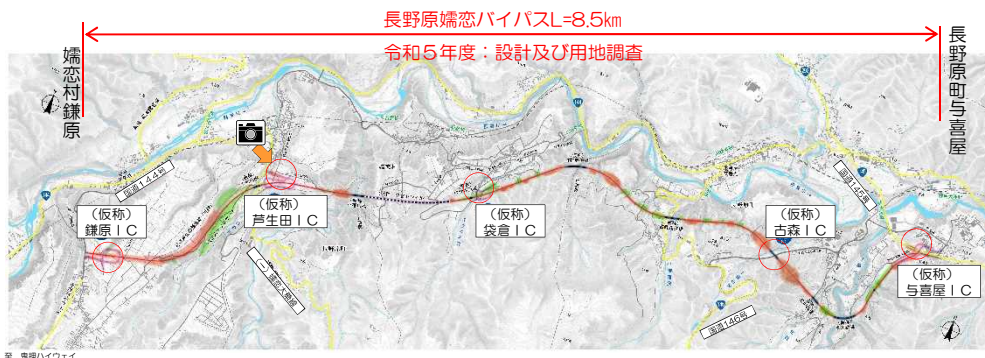
実施後

- ◆幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆バイパスを整備することで、災害時や事故等が発生した際の孤立化リスクが解消され、利便性も向上します。



完成後のイメージ

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、設計及び用地調査を推進します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了